

## 骨転移を有する去勢抵抗性前立腺癌（CRPC）

### の治療（放射性医薬品ゾーフィゴ®静注）

ゾーフィゴ〔放射性医薬品基準塩化ラジウム( $^{223}\text{Ra}$ )注射液〕とは、骨転移を有する去勢抵抗性前立腺癌(CRPC)の治療薬として2016年3月に製造販売承認を取得した世界初の $\alpha$ 線放出性医薬品ですが、当院においても核種の届出等の整備を行い、2016年10月から治療を行っています。

ゾーフィゴ®静注には、 $\alpha$ 線と呼ばれる放射線を出す「ラジウム-223」という放射性物質が含まれています。このラジウム-223は、骨の成分であるカルシウムと同じように骨に集積する性質を持っており、注射で体内に送られると代謝が活発になっているがんの骨転移巣に多く運ばれていきます。そして、その部分から放出される $\alpha$ 線が、骨に転移したがん細胞の増殖を抑制します。このような作用によって、骨転移した去勢抵抗性前立腺癌に対しての治療効果が期待されています。

当院では泌尿器科にて治療を行っていますので、泌尿器科の受診が必要となります。

